



特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター ニュースレター

KFC News

Kobe Foreigners Friendship Center NEWS LETTER

2025. 1. 17

No. 184

法人本部 〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

TEL : 078-612-2402 FAX : 078-612-3052 E-mail kfc@social-b.net

デイサービスセンター ハナの会 TEL / FAX : 078-612-2408

グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ TEL : 078-798-5475・4 FAX : 078-798-5476

ハナ介護サービス TEL : (居宅) 078-646-8671 (訪問) 078-646-8670 FAX : 078-612-3052

ふたば国際プラザ TEL : 078-747-0280 FAX : 078-747-0290

新年あけましておめでとうございます

セヘ ポク マニ パドゥプシヨ (新年の福を たくさんうけとってください)。

昨年未、私のルーツ国である韓国で戒厳令が出され、軍隊が国会にガラスを破って乱入する様子が映し出されました。何度も軍靴で市民が踏みにじられた歴史を持つ韓国なのですからごく心配しましたが、国会も市民も強権に屈することなく6時間で戒厳令が取り消されたことは本当に良かったです。

ウィンストンチャーチルは、「民主主義は最悪の政治形態だが他の政治体制よりはましである」という趣旨の演説を残しましたが、民主主義国家である日本で作られる外国人関連法も政策も今のところ「最悪」です。それでも民主主義の価値を信じてKFCがよりましな日本の役に立てる1年でありたいと思います。今年もよろしくお祈りします。

(理事長 金 宣 吉)

皆さん、明けましておめでとうございます。セ
ヘポック、マ〜ニバドウセヨ。

去年も戦争や紛争などで女性や子どもたちが大
変な被害を受けています。又、物価が上がり給料
は上がりず日々暮らしも厳しくなっています。K
F Cは立場の弱い人たちの人権や生活を支える為
の仕事の続けております。応援して下さいる人た
ちも増えております。新年を迎え心新たに粘り強く
力を合わせて頑張っていきましょう。

(副理事長 李 圭 燮)

みなさま、明けましておめでとうございます。

昨年、新しくK F Cの監事を引き受けてくれる
候補者を探し、専門的な知識をもつ信頼できる人
を見つけることができました。自分より若い人を
監事に推薦できることを嬉しく思っています。そ
ういえば、10月のランタン縁日では、誘っていな
いののに勤務校の高校生がボランティアに来ており
驚きました。若い人たちが活躍するK F Cを創っ
ていきたいです。

(理事 片田 孫 朝日)

明けましておめでとうございます。

昨年、こんな言葉をネット上で見かけました。
“あなたがすることのほとんどは無意味であるが、
それでもしなくてはならない。それをするのは、
世界を変えるためではなく、世界によって自分が
変えられないようにするためである”。マハト
マ・ガンジーの名言とも言われていますが、正確
な出所は不明です。最後は「自分が、どうありた
いか」。つい無力感に圧倒されそうな時に、踏ん
張らせてくれる言葉です。

2025年が皆様にとって穏やかな年でありますよ
うに！

(理事 野崎 志帆)

明けましておめでとうございます。あつという
間に1年が過ぎ、新たな年を迎えました。時が過
ぎる速さは変わらないはずなのに、感覚では毎年
加速しています。今年こそ、一日も早く、あの対
立、あの紛争、あの戦争がぜんぶ終わりますよう
に。権力者や声の大きい者による扇動に惑わされ
ず、物事を冷静に、客観的に見、感じ、行動する

ことを心掛けたいです。(理事 韓 檢 治)

2024年11月の兵庫県知事選挙における斎藤知
事の再選と、12月の韓国大統領による非常戒厳の
宣布は、ショッキングな事件でした。後者につい
ては数時間で解除され、発令者の大統領は弾劾さ
れ、内乱罪による捜査が続いています。前者に関
しても公職法違反疑惑による検察・警察による捜
査がなされています。

私見では、両者の事件の背景に、SNS上で拡散
された陰謀論が、理性的な政治判断を呑み込んで
しまう事態があったように思います。陰謀論は
人々を敵/味方に分割します。この分割を防ぎう
る環境をいかに形成するかと言うことが、混乱が
続くことが予想される2025年の課題なのではな
いでしょうか。今年もよろしくお願い申し上げます。

(理事 樋口 大祐)

2025年の夢

昨年『空亡』だったので、今年に期待をかけて
います。

昨年の11月ベトナム旅行(日本ベトナム友好協
会兵庫県連主催で団長)に行ってきました。年齢
構成は70代から上で占めていましたが、皆さん、
若くて、意欲的で、知的衰え無しという草々たる
人ばかりでした。もうしばらく、私も海外旅行に
チャレンジしようと思う勇気をもらいました。

昨年の9月に看護協会東海地方からズームでの
講演要請があり、フフさんと一緒に講演しました。
私の話に興味を持たれて連絡を取りたいと言われ
て、連絡が来たのが、なんと30年前の震災の時、
インタビューを受けて「震災下の看護婦たち」と
いう本になった医学書院の方でした。原稿依頼の
話があり、快諾しました。一つ一つの出来事がつ
ながっていることの面白さを感じ、新たな人との
つながりや面白いことが増えることを期待してま
す。

(山根 香代子)

明けましておめでとうございます。昨年は衆議
院議員選挙があり、自公が過半数割れということ
になり、少数与党で政権運営がなされることにな
ります。昨年入管法が改正され、外国人の基本的

人権の保障に逆行する内容となっていますので、的人権が保障される方向での改正が実現するような取組が求められます。また、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻による民間人の犠牲が後を絶たず、戦争が拡大する様相を呈しています。戦争回避に向けて国会で日本の積極的平和外交を推進してほしいものです。厳しい状況の中、これからも定住外国人の権利擁護のために、KFCの活動に貢献できるようがんばります。今年もよろしくお祈りします。(理事 吉井 正明)

デイサービスセンターハナの会

◆実務者研修を終えて

5年前に私は初任者研修の資格を取って、介護の仕事を始めました。高齢者や認知症について全く知識がありませんでした。結婚してから来日したため、両親が衰えていく姿は見ることができず、高齢者の心理的な気持ちもわかりませんでした。

介護の仕事で、高齢者に触れ合う、耳を傾けて、認知症と接し、病気などを理解し、一緒に軽い体操をしたり、工作したり、入浴したり、食事したり、会話をするうちに、この仕事に魅力を感じるようになりました。

知識向上のため、私は実務者研修講座に申し込みました。この講座で ICF (国際生活機能分類) の基本、視点、認知症、訪問介護、そして介護の三原則を学びました。それは、

- 安全、安心、安楽
- 自立、支援
- 尊厳の保持

①利用者が良い生活を送るために聞き取り、目標を具体的にする必要があります。

②本人の希望を聞くことの大切さ。

国会で再度入管法の内容を見直し、外国人の基本

③具体的に分かりやすい目標を立案していくことで達成した際はその達成感を共感することが大切と言うこと。

④観察をして記録をすることでご本人の目標達成感や予防をより具体化できること。

⑤利用者に「設定目標に近づいていますよ」というお褒め言葉をかけることの重要性についても学びました。

そして、利用者だけでなく介助者にとっても「安全、安心、安楽」であることの重要性について学びました。

今後、実務者研修で学んだことを現場で実施し、利用者さんが介護職員からの暖かさに感じたらと思っています。また、利用者さんが楽しく、楽観的、充実した老後の生活を送ることができれば、と願っています。(河原 蘭)

小規模多機能型居宅介護支援ハナ

◆新長田未来祭に参加して

「さあ、出かけるよ」という雰囲気の中、何かあるのか分からないけれど、「みんなで、車でいこう」と聞こえてきたのをきっかけに、大正筋商店街に到着。

少し歩くと、食べ物の匂いに誘われて、何種類かの食べ物を購入。休憩場につきました。丸いテーブルを囲んで、まるで、花が咲いたみたいに、みんなで座って、にぎやかに過ごしました。

さらに、お肉が売っているのを見つけ、すぐに買いに走りました。みんなで食べるとおいしいな、と感じました。(鈴木 貴子)

◆2024年度相互理解講座第5回を開催

今回は、武庫川女子大学専任講師の加藤丈太郎先生をお迎えし、「生み出される『不法』滞在者・『失踪』者—ベトナム人元技能実習生の軌跡をたどって—」を開催しました。

「失踪」を経験し「不法滞在」となったベトナム人元技能実習生の軌跡を、来日からベトナム帰国までたどり、法や制度がいかに「不法」や「失踪」を生み出しているのかについてお話しいただきました。

技能実習制度の拡大は、移民受け入れを避けるための手段として機能してきたと言われています。移民受け入れに対する抵抗は、「自民族中心主義に基づいた自己同一性」によって制約されている、技能実習生は感情や主体性を持つ「人間」であり、その存在を単なる労働力としてのみ捉えることは適切ではないと指摘されました。また、実習生が実習先を離れる行為が「不法」や「失踪」として扱われることが多い現状においても、それらの行動は彼らが自らの意思で行動する「主体性」の表れとも解釈できるとお話ししました。

講座では、技能実習生として日本に来たベトナム人女性アンさんの事例を取り上げました。多額の借金をして日本に来日し、以下の計画を立てていました。1年目で借金を完済、2年目で実家の住宅ローンを返済、3年目で貯金をし、それを持って帰国するというものでした。しかし実際には、3年間で借金をかろうじて返済できたに過ぎません。また、ほかの技能実習生への聞き取り調査では、「ベトナムで聞いていた給与額よりも少なかった」という声が多く寄せられていて、この点にも大きな問題があることが浮き彫りになりました。

現在、技能実習制度は段階的に廃止されることが決定しており、2027年から新たな「育成就労制度」が導入される予定です。この移行に際しては、技能実習制度で浮かび上がった課題を十分に検証し、改善点を明確にすることが不可欠です。過去の制度運用の反省を踏まえ、人権や労働条件に配慮した新しい制度への進化が求められています。それこそが、今後の重要な課題と言えるでしょう。（永良）

◆『まちの文化祭2024』

11月24日（日）ふたば学舎主催の「まちの文化祭2024」に、日本語教室の学習者支援者約30名で屋台を出店しました。この文化祭には、2019年から参加しており、屋台出店は今年で5回目になります。

みんなで作り売ったものは、ベトナムコーヒーとバインミー、中国の麻婆豆腐丼、中国のコーラチキン、香港ワッフル、ネパールチキンカレーとマサラチャイです。昨年好評のうちに完売となったので数量を増やして準備したところ、これまででもっとも多い売り上げを得ることができました。この利益は、日本語教室の交流会や来年の文化祭出店に向けての材料費などに役立てる予定です。

メニューはみんなで相談して決め、10月にはふたば学舎の調理室を借りて約20人で試作をしました。どんな容器に入れるか、量や値段はどうするかなど意見を出し合い当日を迎えました。当日は調理室の調理台が1台しか使えなかったため、麻婆豆腐丼とコーラチキンを調理室で作り、バインミーとチキンカレー、チャイはふたば国際プラザの教室で作り、香港ワッフルは前日に教室で焼き上げるなど、それぞれが責任をもって持ち場を担当してくれました。

屋台販売では、「いらっしゃいませー」「こちらも一緒にいかがですか」「温かくておいしいですよ」と声を上げ、日本語で料理の説明をしたりお客さんの質問に答えたりして、日頃の学習とはまた違った日本語学習の場にもなりました。

開店時間になっても料理が店頭に揃わない、ご飯が足りなくなるなど、せっかく注文してくださったお客さんに「ごめんなさい。まだ・・・」とお詫びするような場面もありましたが、反省点は来年に活かしていきたいと思います。

片付け後はみんなで円陣を組んで手を重ね合い「来年も頑張るぞー！おー！」と声を上げて楽しい1日を終了しました。

（岡本 道代）

◆元町教室年末お楽しみ会を行いました！

今年 8 月から、元町でも子どもの学習支援教室を行っています。2 学期が始まると問合せが相次ぎ、今は 12 名の小中学生が学んでいます。教室周辺の校区の子どもが多いのですが、少し離れた場所からも頑張ってきてもらっています。

立地はいいのですが、なかなかボランティアの先生に来ていただけない状況が続いています…。その中、教室が始まった当初から今まで継続して関わってくれているのが、甲南高校の生徒たちです。学校が終わってからになるので、教室で過ごせる時間は限られているのですが、子どもに近い視線で関わり続けてもらっています。

今回はその高校生たちがお楽しみ会の企画と運営をしてくれました。学業、部活動がある中での準備で大変だったと思いますが、子どもたちの笑顔があふれる時間をつくってくれました。

気のせいかな、いつもより足取り軽く現れた子どもたちは時計を気にしながら勉強を頑張り、お楽しみ会がスタート。いす取りゲームやハンカチ落とし、フルーツバスケットなどをしました。初めてでルー

ルがわからない子もいたのですが、みんなで教え合っていました。体格が大きい方が有利そうないす取りゲームで小学 1 年生の子が決勝戦に残ったり（最後は高校生に負けてしまいました…）、仲良し組で固まってしまうのではないかと心配したハンカチ落としで色々な子どもたちにハンカチをパスしたり、周囲の子とよく衝突する子がゲームを提案して頑張っていて説明しみんなと楽しめたり。時間が短くルールがわかったところで終わってしまうこともしばしばあり残念でしたが、次の特別イベントや学校行事につながったらいいなと思います。普段あまり話さない子たちが自然と隣り合う場面など、勉強だけでは見えない姿を見ることができました。

準備してくれたお 2 人に感謝します。年明けからまた、新しい学年に向けて勉強を頑張っていきましょう。そして、元町教室に関心をもってくださいるボランティアの方も心よりお待ちしております。

（櫻木 晴日）

KFC 帰国者新長田交流会

◆ランタン縁日で出店しました！

KFC 帰国者新長田交流会のメンバーは、今年の 10 月 11 日と 12 日に「KOBE ランタン縁日」に参加しました。祭りの前の週から準備を始め、当日は早朝から集まり、中国本格水餃子と揚げ物を手作りしました。帰国者の方々が平均年齢は 70 歳前後ですが、高齢者の持つ豊富な経験と丁寧な手さばきは見事で、餃子の皮を均一にのばし、具を包む作業は職人のようでした。「昔は家族でよく餃子を作ったんだよ」、「東京に住むうちの息子の嫁さんは水餃子が大好きだからよく作って送っている」とみんなで話す笑顔が印象的でした。また、揚げ物とおかず担当の安さんは、昔中国の農村部で 200 人分の料理を作っていたプロだったようで、香ばしい匂いが広がると私はさすがだなあと思わずに感心しました。

お昼にはみんなで試食会を開き、自分たちの作った料理を味わいました。水餃子はモチモチの皮とジューシーな具が絶妙で、「お店で食べるより美味しい！」との声が次々と上がりました。揚げ物もサクサクの衣が絶品で、大満足のひとつとなりました。

午後からは屋台の準備に取りかかり、祭りの会場で販売を開始しました。カラフルなランタンが揺れる中、私たちの屋台には次々とお客様が訪れました。「手作りなんですか？」と驚く方や、「すごくおいしい」と喜ぶ方など、多くの人々との交流が生まれました。販売を手伝ってくれたボランティアの杉本さんと台湾から来た留学生の謝さんも互いに声を掛け合いながら、忙しい中でも楽しそうに接客していました。

祭りが終わる頃には、用意した料理は本格水餃子、豆腐の揚げ物もすべて完売しました。参加者全員が達成感と喜びを共有しました。「一緒に何かを作り上げるのはやっぱり楽しいね」と語る姿に、この活動の意味を改めて感じました。

ランタン祭りは、美しい光景だけでなく、世代と国境を超えたつながりを深める機会にもなりました。

帰国者の方々と協力して中国料理を作り、祭りを盛り上げた経験は、私にとっても大切な思い出となりました。また来年もこの活動に参加し、多くの人に中国の食文化を宣伝することを通じて、笑顔と喜びを共有したいと思います。 (包 苓春)

今後の予定

■ふたば国際プラザ

○2月15日(土) 14:00~15:30

相互理解講座「イスラーム教徒の生活と祈り-日本人ムスリムの視点から-」

○多文化ひろめ隊養成講座と児童館の打ち合わせ
1月25日(土) 13:00-15:00

■【ことばを紡ぐプロジェクト】フォーラム

1月18日(土) 13:30-17:00

■就学前の子どものプレスクール 於 MOI

2025年1月11日(土)~3月22日(土)

■写真展「パレスチナの人々」 於 新長田合同庁舎

3月31日(月)~4月6日(日) 10:00-19:00